



II 活力あふれる地域づくり

① 高速道路、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備

県内道路ネットワークの骨格を形成する幹線道路から通学路等の生活に密集した道路に至るまでの体系的な道路整備を進めています。

① 高速道路網の整備

富山県の高速道路網は、日本海側を縦貫する北陸自動車道、中京圏と結び東海北陸自動車道、能登半島に伸びる能越自動車道で構成されており、小矢部砺波JCTで相互に結ばれています。

● 北陸自動車道

新潟県新潟市から滋賀県米原市までの全区間が完成4車線で供用されています。富山県内では、利便性向上のため入善スマートIC、上市スマートIC、流杉スマートIC、高岡砺波スマートICが供用されています。

● 東海北陸自動車道

平成20年に全線開通し、愛知県の一宮JCT～岐阜県の飛騨清見IC間（約117km）は完成4車線、飛騨清見IC～小矢部砺波JCT間（約68km）は暫定2車線で供用されています。

富山県内では、利便性向上のため南砺スマートICが供用されたほか、令和元年度には、城端スマートICが事業化され、整備が進められています。

また、暫定2車線の区間では、対面交通の解消を目的として、順次4車線化が進められており、令和4年3月には、福光IC～南砺スマートIC間が事業化されたことで、富山県内全ての区間を含む白川郷IC～小矢部砺波JCT間（約43km）が4車線で事業化されました。

4車線化事業の進捗状況については、令和2年から順次4車線化が完成しており、令和4年11月には、新たに2区間、延長5.9kmの4車線化が完成しました。これにより南砺スマートIC～小矢部砺波JCT間の全区間が4車線で供用されました。

4車線化されることで、時間信頼性の向上、安全性やネットワークの信頼性の向上が期待されます。

● 能越自動車道

小矢部砺波JCT～高岡IC間（約14km）は、4車線の有料道路として、高岡IC～県境間（約30km）は暫定2車線の無料区間として供用されています。

また、平成27年11月に能越県境PA、平成28年3月に氷見南ICが供用されており、さらに、平成30年6月には、福岡本線料金所を撤去し、全区間均一料金に変更するなど利便性が向上しました。



小矢部砺波JCT



上市スマートIC



4車線化完成区間
(南砺スマートIC～小矢部砺波JCT)

写真提供：中日本高速道路(株)
富山高速道路事務所



北陸五道



能越県境PA (平成27年11月8日供用)



氷見南IC (平成28年3月27日供用)

② 高規格道路の整備

高規格道路は、人流・物流の円滑化や活性化によって我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはこれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成する道路です。

また、地域の実情や将来像(概ね20~30年後)に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路であり、求められるサービス速度が概ね60km/h以上を提供します。

富山県では「計画路線」として4路線が指定されており、現在の整備状況は下表のとおりです。



整備を進めている高岡環状道路【高岡市上伏間江～佐野】

高規格道路（地域高規格道路）の整備状況

路線名	起点	終点	延長	整備状況
富山高山連絡道路	富山市猪谷	富山市片掛	1.6km	整備中(平成9年度事業着手)
	富山市庵谷	富山市楡原	3.0km	平成22年11月 供用開始
	富山市楡原	富山市栗山	12.0km	整備中(平成26年度事業着手)
高岡環状道路	高岡市上伏間江	高岡市佐野	2.6km	平成15年3月 暫定供用開始(副道) 整備中(平成27年度事業着手)(本線)
	高岡市佐野	高岡市六家	2.6km	平成26年11月 暫定供用開始(副道)
	高岡市石塚	高岡市六家	1.3km	整備中(令和元年度事業着手)
富山高岡連絡道路	高岡市石瀬	高岡市野村	1.0km	平成17年12月 供用開始
	射水市沖塚原	射水市川口	1.1km	平成28年3月 供用開始
富山外郭環状道路	富山市小西	富山市栗島町	2.9km	整備中(平成21年度事業着手)
	富山市中島	射水市白石	7.4km	整備中(令和3年度事業着手)

富山県の高規格道路（地域高規格道路）

路線名	起点	終点	計画路線指定年月	概略延長
富山高山連絡道路	高山市	富山市	平成6年12月16日	80(20)km
富山高岡連絡道路	富山市	高岡市	平成10年6月16日	10km
高岡環状道路	高岡市	高岡市	平成6年12月16日	20km
富山外郭環状道路	富山市	富山市	平成10年6月16日	40km

※概略延長の()書は、県内延長を表す。

③ 地域の活力を育む幹線道路や身近な生活道路の整備

● 幹線道路の体系的な整備

新幹線駅・IC・港湾など交通・物流拠点や主要観光地へのアクセス道路をはじめ、市町村間を結ぶ幹線道路など、体系的な整備を推進します。

富山県の幹線道路網



県道 富山立山公園線
【富山市藤木～立山町利田】



県道 宇奈月大沢野線
【魚津市袋～大海寺野】



一般国道 415号
【氷見市谷屋～大野】



県道 練合宮尾線
【富山市打出～四方荒屋】



県道 高岡小杉線
【射水市橋下条～南太閤山】



県道 砺波福光線
【南砺市吉江～遊部】

●サイクリングコースの整備

県内各地にある美しい景色や観光施設を巡りながら、サイクリングを楽しんでもらえるように、自転車通行空間の整備を行っています。

1. 富山湾岸サイクリングコース

「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した富山湾の美しい景色を楽しめる海岸沿いの眺望のよい道路を本コースとして設定。令和3年5月31日、国の「ナショナルサイクルルート（NCR）」に指定され、さらなる走行環境の充実（①、②）を推進しています。

①矢羽根型路面表示等の新設

コース上に一定間隔で青い矢羽根型路面表示を設置し、サイクリングコースの目印とします。また、分岐点には自転車ピクトグラムやNCRのロゴマークを表示し



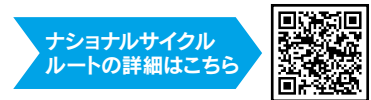
②分岐点誘導標識、目的地距離標等の充実を図ります。

2. 田園サイクリングコース

立山連峰のパノラマ風景や沿線地域の観光施設を巡ることのできる富山平野の眺望のよい道路を本コースとして設定。

3. 湾岸・田園連絡サイクリングコース

富山県の中央部で上記2つのコースを南北につなぎ、富山空港を経由する道路を本コースとして設定。



富山湾岸サイクリングコース



田園サイクリングコース

●無電柱化の推進

良好な景観の形成や快適な歩道空間の確保、災害に強いまちづくりの観点から無電柱化を推進しています。



電線共同溝整備による無電柱化【国道415号(氷見市中央町地内)】

●高速道路ナンバリング標識の整備

訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を行うため、高速道路の路線名に併せて路線番号を用いて案内する「高速道路ナンバリング」標識を整備しました。

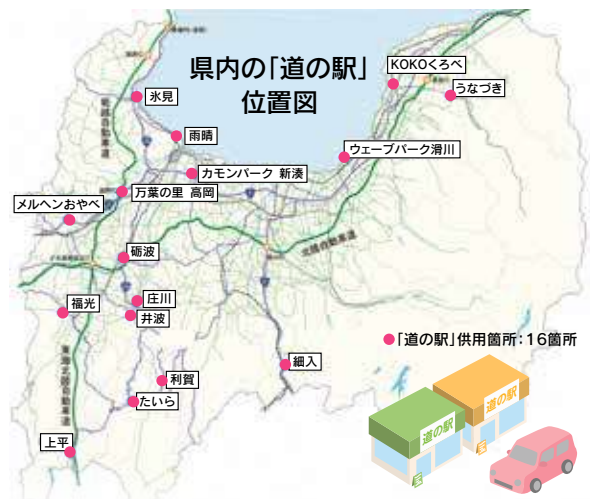


●道の駅

「道の駅」は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町を結び、地域を活性化させるための「地域の連携機能」の3つのコンセプトを併せ持つ休憩施設です。

道の駅一覧（令和4年度4月時点）

番号	駅名	設置者	路線名	所在地
1	細入	富山市	国道41号	富山市片掛3-5
2	砺波	砺波市	国道156号	砺波市宮沢町3-9
3	上平	南砺市	国道156号	南砺市西赤尾72-1
4	利賀	南砺市	国道471号	南砺市利賀村171
5	井波	南砺市	国道471号	南砺市北川730
6	福光	南砺市	国道304号	南砺市中ノ江116
7	たいら	南砺市	国道156号	南砺市東中江215
8	庄川	砺波市	国道156号	砺波市庄川町示野437
9	うなづき	黒部市	県道黒部宇奈月線	黒部市宇奈月町下立687
10	カモンパーク 新湊	射水市	国道8号	射水市鏡宮296
11	ウェーブパーク滑川	滑川市	県道富山魚津線	滑川市中川原410
12	氷見	氷見市	国道415号	氷見市北大町25-5
13	万葉の里 高岡	高岡市	国道8号	高岡市蜂ヶ島131-1
14	メルヘンおやべ	小矢部市	国道8号	小矢部市桜町1535-1
15	雨晴	高岡市	国道415号	高岡市太田24-74
16	KOKOくろべ	黒部市	国道8号	黒部市堀切925-1



道路 ストック効果事例

『橋の開通が商業・企業進出を促進!』
富立大橋開通により、県道沿線地区の企業立地、商業施設進出が活性化。

地域の賑わいや雇用の創出!

富立大橋開通後の立地面積の推移



商業施設立地

(スーパー銭湯、アウトドアショップ、大型スーパー)



② 国際拠点港湾としての伏木富山港の機能強化

港湾



富山県には、古くから栄えてきた伏木港（伏木地区）、富山港（富山地区）、そして戦後の新産業都市建設の目玉として整備された富山新港（新湊地区）の3つの地区からなる国際拠点港湾「伏木富山港」と、県東部の生活物資の流通拠点である地方港湾「魚津港」があります。

伏木富山港は、平成23年11月に日本海側の各港湾をけん引する「総合的拠点港」に選定されたほか、「国際海上コンテナ」「国際フェリー・国際RORO船」「外航クルーズ（背後観光地クルーズ）」の3つの「機能別拠点港」にも選定されました。

今後、環日本海地域やアジアの交流・物流拠点としてさらに発展するよう、港湾機能やネットワークの充実に取り組んでいきます。

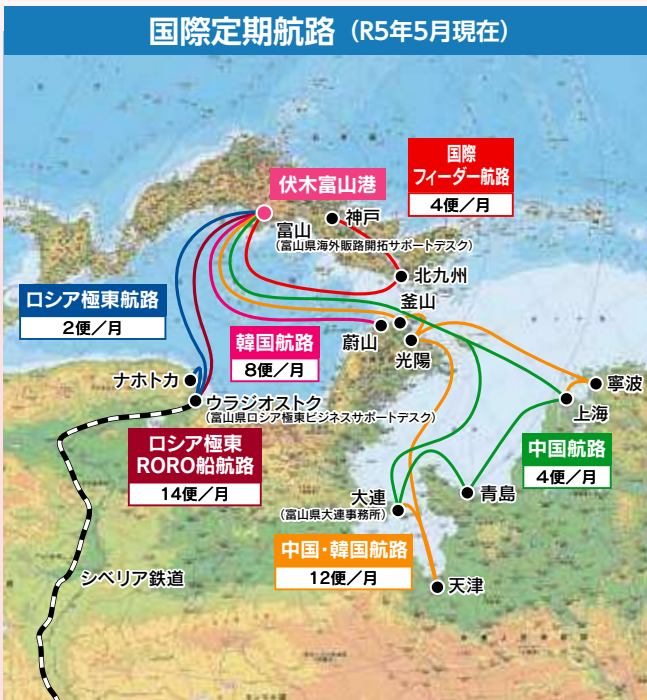
富山県／伏木富山港

検索



① 日本海側の物流拠点としての役割

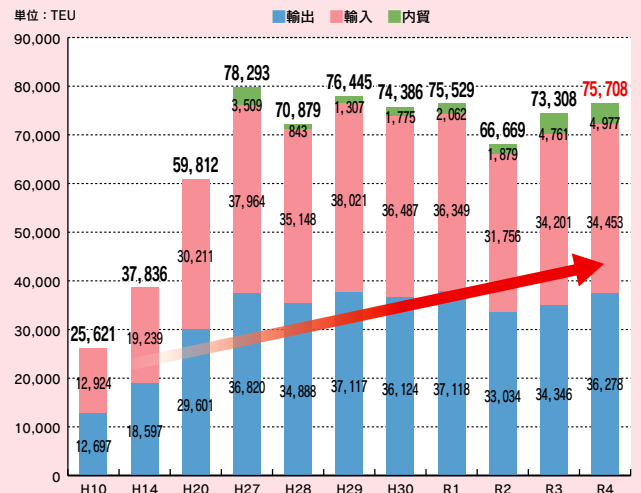
コンテナ・RORO 環日本海・アジア地域との物流拠点を形成！



特色

- 環日本海の中央に位置し、対岸諸国と近接
- 三大都市圏と等距離にあり、太平洋側港湾の代替機能を果たすことが可能

伏木富山港におけるコンテナ取扱個数の推移



バルク 地域の基幹産業を支える 物流拠点として発展！

特色

伏木富山港は燃料や原材料となる木材チップ、石油コークス、アルミ地金、セメント、亜鉛鉛などのバルク貨物の拠点になっています。県内外の多くの企業が伏木富山港を利用しており、原材料を加工して国内外へ製品を出荷しています。

特に工業用の燃料として使用される石油コークスの取扱量は日本海側で最大となっており、地域の産業基盤の重要な拠点となっています。



新湊地区中央心頭



新湊地区国際物流ターミナル (国土交通省北陸地方整備局提供)

- 新湊地区国際物流ターミナル (コンテナターミナル)
約13haのコンテナヤード
ガントリークレーントランスファークレーン完備
リーファーコンテナ用コンセント完備
- 伏木地区国際物流ターミナル
毎時500tの貨物が取扱可能な大型クレーンを備える。

② 伏木富山港の機能の充実

● 伏木地区（伏木港）

船舶の大型化への対応や河口部の維持浚渫からの脱却を図るため、伏木地区では外港展開を進めています。

また、港湾物流の円滑化を図るため、伏木外港と国道415号を結ぶ臨港道路伏木外港1号線の整備を進めています。

今後、大型貨物船や国際フェリー・国際RORO船、大型クルーズ客船の拠点として機能強化を図ります。



● 富山地区（富山港）

対ロシア物流の拠点として中古自動車の取扱量が多い富山地区では国際RORO船が接岸する2号岸壁の老朽化対策などを進めています。

また、潤いと活気に満ちた魅力ある水辺空間の創出を目的として運河沿いの緑地整備を進めており、現在、富岩運河の中島閘門下流や住友運河の整備を進めています。



● 新湊地区（富山新港）

新湊地区は伏木富山港で取り扱う貨物量全体の約7割を占める中心的な港であり、北陸地域の製造業を支える物流拠点として、その役割が果たされるよう、更なる港湾機能の強化を図っています。

国際海上コンテナを取り扱う国際物流ターミナルでは、増加するコンテナ貨物に対応するため、平成30年4月に、コンテナヤードを拡張するとともに、令和元年6月には岸壁の延伸整備が完了し、1.2万トン級コンテナ船の2隻同時接岸・同時荷役が可能となりました。

また、老朽化したガントリークレーンを更新するため、令和3年度に本体製作に着手し、令和5年度の完成を予定しています。

バルク貨物を扱う中央ふ頭においては、木材チップ船の大型化への対応や効率的な荷役ができるよう、令和元年度から岸壁の大水深化を進めています。



(写真：国土交通省北陸地方整備局提供)

③ 日本海側拠点港：3つの「機能別拠点港」

国際海上コンテナ

環日本海・東アジア地域との
日本海側物流拠点の形成



国際コンテナ船での輸出入（新湊地区）

国際フェリー・国際RORO船

極東ロシアを核とした物流拠点
形成による国際競争力の強化



国際RORO船での中古車輸出（富山地区）

外航クルーズ(背後観光地クルーズ)

日本海側地域の経済成長と
観光立国の推進に貢献



大型クルーズ客船の寄港（伏木地区）

④ 県東部の拠点「魚津港」

● 北地区

北地区では、平成6年度から、ふ頭用地の拡張や物揚場等港湾機能の強化と、港湾利用者の休息の場である緑地整備を進め、平成23年8月に、災害時の救援物資や応急復旧資材等の海上輸送の拠点となる耐震強化岸壁が完成しました。

平成27年度には、緑地の整備が完了し、魚津港の整備が概成しました。



③ 国内外との航空ネットワークの維持・充実と空港の活性化

富山きときと空港は、富山県の中心を流れる神通川の河川敷に2,000mの滑走路をもつ空港です。

国内定期路線は、東京、札幌の2路線、国際定期路線は、地方管理空港としてはトップクラスとなる4路線（ソウル、大連、上海、台北）が就航しています。

① 環日本海・アジア交流の拠点となる富山きときと空港

羽田空港等を經由した航空ネットワークの拡充も図られ、北陸・飛騨・信越地域の空の玄関口として、また、環日本海・アジア交流の拠点空港としての役割が一層期待されています。

富山きときと空港を中心とした空のネットワーク（令和5年4月現在）



国際線4路線の就航は地方管理空港としてはトップクラス

国内線	国際線
<ul style="list-style-type: none"> ● 富山～東京 ● 富山～札幌 	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山～ソウル ● 富山～大連 ● 富山～上海 ● 富山～台北
チャーター便（令和4年度実績）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 松山、女満別、隠岐、対馬、佐賀、熊本、種子島、下地島、大分 	
国内線・国際線乗り継ぎ	
<ul style="list-style-type: none"> ● 東京（羽田）経由（36区間） ● 札幌（新千歳）経由（3区間） <p>※富山から全国各地に乗り継ぎ割引が設定されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フランクフルトなど29都市 <p>※富山から羽田空港で国際線への乗り継ぎができます。</p>

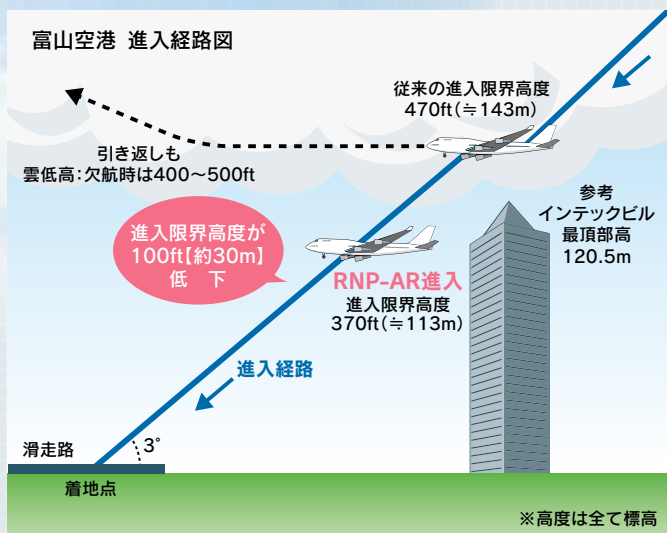
富山きときと空港の情報は <https://www.toyama-airport.jp/>

② 冬季就航率の向上

XバンドMPレーダーの活用やRNP-AR飛行方式の導入など、冬季就航率の向上に向けた取り組みを行っています。

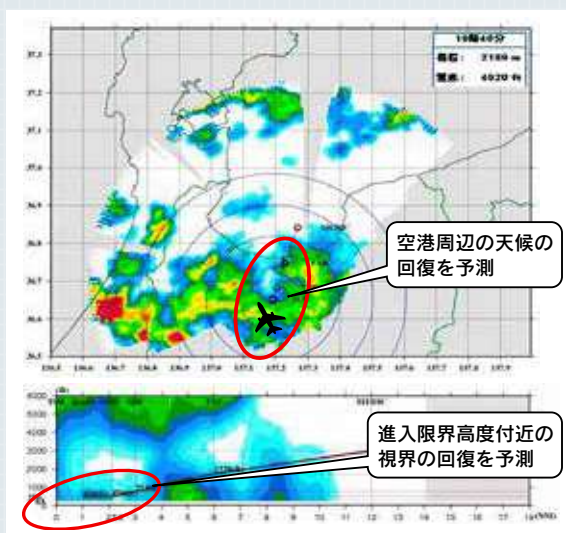
RNP-AR飛行方式導入

GPS衛星等を利用した高精度のRNP-AR飛行方式が導入されています。進入限界高度が100ft（約30m）引き下げられ、370ft（約113m）となりました。以前は着陸できなかった天候でも着陸が可能となっています。※本飛行方式に対応した機体（ANA B737-800ほか）のみ



XバンドMPレーダ活用

雲の動きを立体的に把握・予測をすることにより、高い精度で雲の切れ間を把握し、安全に着陸することができます。RNP-AR飛行方式に併せ、370ft付近の雲の動きを予測することにより、更なる就航率の向上を図ることができます。



※進入限界高度：着陸の可否を最終的に判断する高度。この高さで滑走路が確認できなければ、着陸できない。

④ うるおいのあるまちづくりと中心市街地の賑わいの創出

本県の魅力をより一層高めるとともに、県民がふるさとに誇りと愛着を持ち、交流人口の拡大などの取り組みを推進するため、地域の資源や個性を活かした魅力的で美しいうるおいのあるまちづくりの一層の促進と、新たな価値の付加が必要となっています。

また、地域交通ネットワークの充実への支援や、広域交通ネットワークを活かした広域的な観点からのまちづくりの推進など、人口の急激な減少と高齢社会に対応した都市構造への転換が重要となっています。

私たちは、このような県民ニーズに応え、うるおいのあるまちづくりと中心市街地の賑わいの創出を進めています。

① 都市計画区域マスタープラン

県では、各々の都市計画区域において、都市づくりの基本的な方向性を示す「都市計画区域マスタープラン」を策定しており、富山県の都市計画の方針として4つの基本理念を掲げ、県民及び市町村との連携・協力のもと、総合的かつ計画的な都市づくりを進めています。



② 市街地再開発事業

空洞化が進む中心市街地の活性化を図るため、まちなか居住の促進とあわせ、商業、業務、文化、福祉など多様な機能が都心部に集積された機能的で魅力あるまちづくりを進めます。

また、低層の木造建築物が密集するなど、防災性や土地利用の効率が低い市街地においては、細分化された敷地を統合し、新たに土地を高度利用した耐火性の高い建築物を建築し、安全な都市環境の創出を目指します。

● 高岡駅前東地区優良建築物等整備事業

【アパ地区】(完成)

事業概要 所在地／高岡市下関町
 地区面積／約0.6ha 延べ面積／約20,617㎡
 総事業費／約55億円
 主な用途／ホテル、住宅、駐車場

【Aゾーン地区】

事業概要 所在地／高岡市下関町
 地区面積／約0.2ha 延べ面積／約10,330㎡
 総事業費／約37億円
 主な用途／商業施設、住宅、駐車場

● 中央通りD北地区市街地再開発事業

事業概要 所在地／富山市中央通り
 地区面積／約0.8ha 延べ面積／約44,500㎡
 総事業費／約184億円
 主な用途／商業施設、業務施設、アイススケート場、住宅、駐車場



中央通りD北地区完成予想図

③ 土地区画整理事業

● 射水市奈呉町ほか土地区画整理事業

射水市北部の放生津地区において、小規模な区画整理に分解し、連鎖型の事業を実施。住民が段階的に移住できることで、地域コミュニティの維持とまちの再生を図っています。



事業期間/H24～実施中、面積地区計/約4ha

④ 都市計画道路の整備

● 新幹線駅等へのアクセス道路の整備

新幹線駅等の交通拠点へのアクセス道路など、公共交通を支援する道路の整備を進めています。



(都) 牛島蛭川線 整備前



整備後イメージ

⑤ 都市公園の整備

都市公園は、都市内のオープンスペースとして、スポーツやレクリエーションなどに利用され、人々の心にもうおいやすらぎを与えるとともに、災害の防止や避難地としての機能も果たしています。またその都市のシンボルとしての役割も担っています。

富山県の都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は令和3年度末で、16.0㎡です。これは全国平均の12.5㎡よりも高い水準にあります。

引き続き、地域の自然や文化を生かした公園づくりに取り組むとともに、都市全体がうおいのある環境となるよう、公園緑地のネットワーク化を図り、優れた景観づくりにも取り組んでいきます。



県民公園太閤山ランド



富岩運河環水公園



富山県総合運動公園

公園 水と緑を活かして賑わいを創出!

運河の水面を残し、都市の水辺環境として活用するため「富岩運河環水公園」を開園



富山駅北地区の新しい都市拠点の創造、新たな賑わいの創出



富山県美術館



レストラン ラ・シャンス



運河クルーズ (富岩水上ライン)



公園内施設の誘致 (スターバックスコーヒー)

⑤ 富山駅周辺の整備

富山駅周辺では、駅周辺の混雑緩和や南北一体のまちづくりを推進するため、北陸新幹線の建設にあわせて在来線を高架化し、交差道路の拡幅を行う「富山駅付近連続立体交差事業」や駅周辺を整備する「富山駅周辺地区土地区画整理事業」等により、県都の玄関口にふさわしい機能の整備や魅力づくり、景観の創出を推進しています。



〈富山駅周辺整備の概要〉

① 連続立体交差事業 (H17~)

事業主体/富山県
対象路線/あいの風とやま鉄道線、JR高山本線、富山地方鉄道本線
事業区間/富山市明輪町~曙町
延長/あいの風とやま鉄道線 約1.8km
富山地方鉄道本線 約1.0km
ホーム面数、線数/あいの風とやま鉄道線 2面4線1切欠
富山地方鉄道本線 2面2線

② 土地区画整理事業 (H18~)

事業主体/富山市
面積/約10.4ha
整備内容/広場の整備 (南口・北口駅前広場、西口交通広場)
道路の整備 (富山駅南北線、富山駅横断東線など)

③ その他関連事業

街路事業/ (都)牛島蛸川線、(都)堀川線など
路面電車南北接続事業、自由通路整備事業

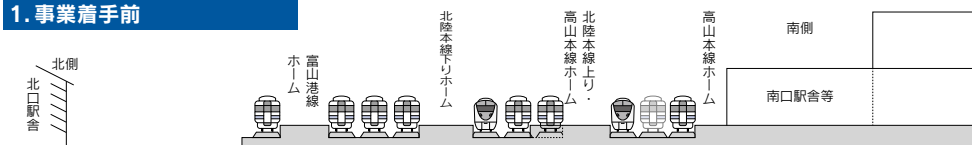


富山駅付近連続立体交差事業 概要図

① 富山駅付近連続立体交差事業 施工手順

あいの風とやま鉄道線、JR 高山本線

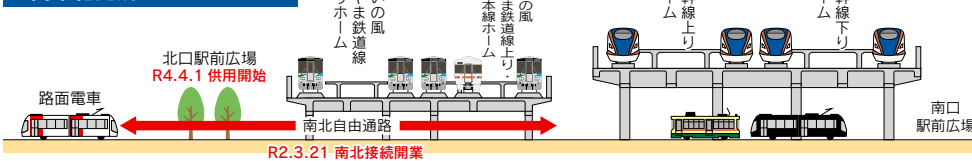
1. 事業着手前



2. 在来線の高架化 H31.3.4 全線高架切換え



3. 高架化完成!

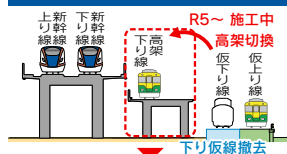


富山地方鉄道本線

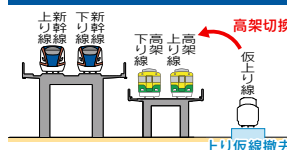
1. 仮線構築 (現在)、切換



2. 下り線の高架切換



3. 上り線の高架切換



② 駅の南北一体化 (路面電車南北接続、南北自由通路)

鉄道で分断されている富山駅南北の市街地を高架下空間で接続。



南北自由通路



路面電車の南北接続

③ 駅周辺のアクセス道路の整備

南北を接続する都市計画道路の整備。



(都)堀川線(渋滞状況)



(都)堀川線(完成イメージ) 平面4車線化

『連立事業、路面電車南北接続事業、新幹線富山駅建設事業が連携し、公共交通主体型まちづくりを推進した点が評価され、富山県、富山市、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が令和2年度土木学会賞技術賞を受賞しました。』



⑥ 下水道の整備

水は、人間が生きていく上で欠くことのできないものです。富山県には、清らかな水が豊富にあり、県民の誇りとなっています。この豊かで清らかな水を県民共有の財産として守り、次の世代に引き継いでいくことが、私たちの責務です。

下水道は、今後も、この豊かで清らかな水を守り、快適で衛生的な生活環境をつくるために、大きな役割を果たしていきます。

① 県全域に快適な生活環境を

汚れた水をきれいにする污水处理施設には、公共下水道、農村下水道、コミュニティプラント、合併処理浄化槽などがあります。

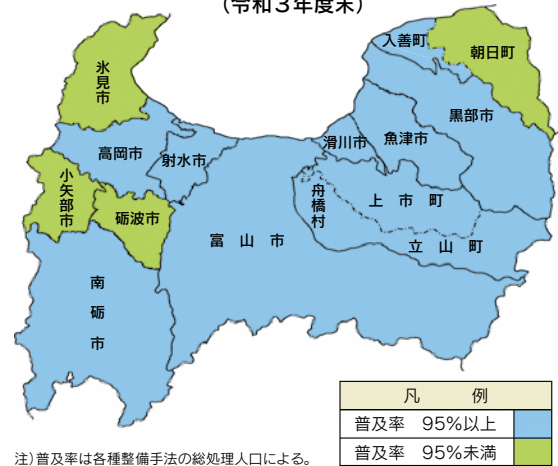
富山県では、平成2年度に全国に先駆けて「全県域下水道化構想」を策定し、県と市町村が一体となって污水处理施設の整備を進めてきました。この結果、令和3年度末の污水处理人口普及率は、97.6%と全国第8位になっています。

現在の4代目の構想となる「富山県全県域下水道ビジョン2018」では、3つの基本方針を定め、全県域の持続可能な污泥処理システムの構築を目指し、取り組みを進めています。

〈基本方針〉

- ① 未普及地域の早期解消
- ② 污水处理施設の広域化・共同化
- ③ 既処理設備の効果的な改築・更新及び運営管理

污水处理人口普及率の状況
(令和3年度末)



② 流域下水道の整備

富山県では、2つ以上の市町村の区域における下水を処理するために、流域下水道を整備しています。昭和63年3月には小矢部川流域下水道、平成9年12月には神通川左岸流域下水道を一部供用開始し、広域のかつ効率的な下水処理を行っています。

富山県の流域下水道

項 目	小矢部川流域下水道	神通川左岸流域下水道
関 係 市 町 村	高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市	富山市、高岡市、射水市
計 画 処 理 人 口	258,900人	200,100人
計 画 処 理 区 域 面 積	10,806ha	6,998ha



小矢部川流域下水道 二上浄化センター
(高岡市二上地内)



神通川左岸流域下水道 神通川左岸浄化センター
(射水市海竜町地内)

③ 下水道資源・施設の有効利用

下水道は、汚れた水をきれいにするばかりでなく、処理した水を消融雪用水に活用したり、下水污泥を肥料やブロック、マンホールなどの建設資材に活用したりするほか、下水処理場の敷地の一部を、地域住民が親しみをもてる公園として整備するなど、下水道のもつ資源や施設をさまざまに活用しています。

平成25年2月には、二上浄化センターで下水処理水を放流する際の落差を利用した小水力発電施設を整備しました。年間約8万キロワットアワーの発電能力があります。